

立山杯第十九回北信越空手道選手権大会

《《令和四年度 第四十回全日本空手道選手権大会》》

《2022 adidas カラテ GRAND PRIX 出場権獲得指定大会》

大会要項

全日本空手道連盟

国際正道-空手連盟 正道会館正天會

日 時 令和3年10月24日(日)

選手受付 9:00(9:30終了) ※時間厳守

開会式 10:00

会 場 新湊アイシン軽金属スポーツセンター大アリーナ(射水市新湊総合体育館)

〒934-0039 富山県射水市久々湊467 電話 0766-82-8277

参加資格 幼児年中以上の空手道拳士

競技内容 各部門毎の勝ち抜き戦による組手試合(別紙の出場誓約申込書を参照)

【挑戦の部】小学生から中学生迄で、各種大会に於いて初出場及び過去一年間
入賞経験の無い色帯(茶帯以下)が対象

(所属道場の先生が、責任を持って確認判断し出場させて下さい)

【王者の部】◎入賞者は標記大会の出場権を獲得出来ます

中学生以下は出場制限無し

女子中級は茶帯以下、上級は出場制限無し

一般・青年・壮年男子の部は、有段者の出場不可

一般は高校生以上、青年は31才~40才、壮年は41才以上とする

※部門編成は、参加人数により合併や閉鎖等する場合がありますので御了承下さい

防 具 別紙の試合規約を参照の上、必ず該当する防具を用意して下さい

※当日の貸し出しは一切有りません

※着用無き者の参加は認めません

参加費 金7,000円

※参加費は理由の如何に拘らず返金を致し兼ねます

※但し、部門閉鎖等の場合この限りでは有りません

申込方法 申込書に必要事項を明記の上、参加費を添えて必ず申込締切日迄に、所属道場の先生が纏めて現金書留で大会事務局宛に郵送して下さい

申込締切 令和3年9月7日火曜日迄に大会事務局必着 ※締切厳守

申 込 先 〒939-1522 富山県南砺市野新195 電話 0763-22-7727

正道会館 正天會 宛

立山杯争奪 第十九回北信越空手道選手権大会 出場誓約申込書

開催日: 令和3年10月24日(日)

会場: 新湊アイシン軽金属スポーツセンター大アリーナ

全日本空手道連盟

国際正道-空手連盟 正道会館正天會 御中

私儀、以下の通り相違なく、本大会の試合規約を遵守し、正々堂々と競技する事をここに誓います。
又、審判の判定に対して一切の異議を申し立てない事を約束し、本大会での事故や怪我について、
主催者及び対戦相手にその責任を問う事は一切致しません。

流派道場:	
先生氏名:	(印)
住所:	〒
電話番号:	()
携帯電話:	()

≡※所属道場の先生が記入捺印して下さい
(複写及びゴム印対応可)

申込年月日 令和3年 月 日

選手氏名

(未成年者は保護者名)

(印)

【出場部門】 ※出場する部門に✓印を付ける(再確認の上、絶対に記入間違いの無き様)

◎挑戦の部			
<input type="checkbox"/> 小学女子一年生	<input type="checkbox"/> 小学男子一年生	<input type="checkbox"/> 小学女子二年生	<input type="checkbox"/> 小学男子二年生
<input type="checkbox"/> 小学女子三年生	<input type="checkbox"/> 小学男子三年生	<input type="checkbox"/> 小学女子四年生	<input type="checkbox"/> 小学男子四年生
<input type="checkbox"/> 小学女子五年生	<input type="checkbox"/> 小学男子五年生	<input type="checkbox"/> 小学女子六年生	<input type="checkbox"/> 小学男子六年生
<input type="checkbox"/> 中学女子軽量(40kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学男子軽量(45kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学女子中量(50kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学男子中量(55kg以下)
<input type="checkbox"/> 中学女子重量(50kg超)	<input type="checkbox"/> 中学男子重量(55kg超)		
◎王者の部			
<input type="checkbox"/> 幼児男女混合年中	<input type="checkbox"/> 幼児男女混合年長	<input type="checkbox"/> 小学女子一年生	<input type="checkbox"/> 小学男子一年生
<input type="checkbox"/> 小学女子二年生	<input type="checkbox"/> 小学男子二年生	<input type="checkbox"/> 小学女子三年生	<input type="checkbox"/> 小学男子三年生
<input type="checkbox"/> 小学女子四年生	<input type="checkbox"/> 小学男子四年生	<input type="checkbox"/> 小学女子五年生	<input type="checkbox"/> 小学男子五年生
<input type="checkbox"/> 小学女子六年生	<input type="checkbox"/> 小学男子六年生	<input type="checkbox"/> 中学女子軽量(40kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学男子軽量(45kg以下)
<input type="checkbox"/> 中学女子中量(50kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学男子中量(55kg以下)	<input type="checkbox"/> 中学女子重量(50kg超)	<input type="checkbox"/> 中学男子重量(55kg超)
<input type="checkbox"/> 壮年男性軽量(65kg以下)	<input type="checkbox"/> 壮年男性中量(75kg以下)	<input type="checkbox"/> 壮年男性重量(75kg超)	
<input type="checkbox"/> 一般女性中級軽量(50kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般女性中級中量(60kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般女性中級重量(60kg超)	
<input type="checkbox"/> 青年男性軽量(65kg以下)	<input type="checkbox"/> 青年男性中量(75kg以下)	<input type="checkbox"/> 青年男性重量(75kg超)	
<input type="checkbox"/> 一般女性上級軽量(50kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般女性上級中量(60kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般女性上級重量(60kg超)	
<input type="checkbox"/> 一般男性中級軽量(65kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般男性中級中量(75kg以下)	<input type="checkbox"/> 一般男性中級重量(75kg超)	

ふりがな	現住所: 〒
氏名:	
生年月日:	性別: 男 / 女 ○で囲む
昭和・平成・令和 年 月 日(満才)	電話番号: ()
身長: cm	体重: Kg
	修行年数: 年 ヶ月
	武階:()級 / 段 ○で囲む
◎参加人数により、学年統合や階級統合になった場合 (出場する・出場しない) ※どちらかに○印を付ける	
◎参加人数により、決勝戦のみ(ワンマッチ)になった場合 (出場する・出場しない) ※どちらかに○印を付ける	
◎前回出場した大会の戦歴 (大会名)	(成績)
(初めての選手は「初出場」と記入)	

※記入漏れがあると受け付け出来ませんので必要事項を全て記入して下さい

記載された個人情報、大会の運営・選手管理の為に利用致します。選手の所属団体名及び、出場選手の名前、入賞者名が大会冊子
正道会館HP、参加団体HP、新聞、雑誌、他各マスコミ誌等に掲載される場合がございますので、ご了承下さいます様御願致します。

《得点・判定基準規定》

《禁止行為・罰則基準規定》

■得点基準■

●有効(ポイント1)

有効(ポイント1)の獲得には以下のそれぞれの条件に「気合」と「残心」を必要とする

- ・上段への蹴りをノーガードの箇所ヒットさせた場合
- ・道着をつかまない瞬間的な崩しや投げ、足払い、下段への蹴り等で相手を転倒させ即座に腰より上の、腕を除く部位へ寸止めで下段突きを決めた場合
→転倒している選手による下からの蹴り上げは認める
- ・相手の胴廻し回転蹴り等をかわし転倒している相手へ即座に腰より上の、腕を除く部位へ寸止めで下段突きを決めた場合
- ・中段以上への蹴り(前蹴り、足刀、後ろ蹴り等)により相手を大きく転倒させた場合

●技有(ポイント2)

- ・ダメージが認められた場合
- ・有効を2回取った場合

●一本(ポイント3)

- ・ダウン(スタンディングダウンも含む)や戦意を喪失させた場合
- ・技有を2回取った場合
- ・有効を3回又は技有1回と有効1回を取った場合
- ・主審・医師が相手選手の試合続行不可能と判断した場合

■判定基準■

一本勝ち・相手の反則負けあるいは失格がない場合、本戦終了後に判定をとる

判定基準の優先順位は

- 1) 技有(ポイント2)の有無
- 2) 有効(ポイント1)の有無 = 技有には至らないダメージの有無
- 3) 有効打

の順とし、その他にも戦略や技術の優劣、中段以上の蹴りの多さ、しかけた技の多さ、力強さ、闘争心、試合態度、等を考慮し判断される

- ▶有効(ポイント1)あるいは警告(減点1)があっても、上記基準の優劣により判定で相殺される場合もあり得る
- ▶延長戦以降はどちらかにポイント又は減点が与えられた時点で終了とする
- ▶最終延長戦で無得点の場合とはどちらかに旗をあげる完全決着方式とする(体重判定は行わない)

得点	ポイント	優劣	罰則	減点
有効	+1	=	警告	-1
技有	+2	=	反則注意	-2
一本	+3	=	反則(反則負)	-3

	本戦	延長	再延長無し
中学生以下	1分30秒	1分00秒	※延長は得点先取
一般各部門	2分00秒	1分00秒	※延長で完全決着

【審議】

◎競技判定において審議を必要とする場合の最終決定権は大会役員に有り如何なる抗議も受け付けない

【注意】

- ◎セコンドは選手1名に対し、1名とする
- ◎大会会場及び試合中に生じた負傷・事故については競技者の自己責任となる。この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会医師並びに大会救護員あり

禁止行為は次の2つに分類される。

■危険行為(負傷につながる禁止行為)■

- ・上段(顔面、頭部、頸部)への手技による攻撃
- ・頭突きでの攻撃(バッティング含む)
- ・上段への膝蹴り
- ・金的・女子の下腹部への攻撃
- ・主審の「止め」の後での攻撃
- ・腰から上へ持ち上げての投げ
- ・相手の蹴り足を持つての投げや攻撃
- ・背後からの正中線への攻撃
- ・倒れた相手、又は攻撃の為ではなく足の裏以外が床についた相手へ攻撃を当てる事
- ・その他審判が危険行為と判断した場合

■違反行為(試合の進行を妨げる禁止行為その他)■

- ・相手の道着を掴む事(片手、両手共に禁止)
- ・首相撲
- ・片手でも首相撲のような形で頭部、頸部を抱え込む事(高校生以上は認める)
- ・クリンチを仕掛ける事
- ・2回以上場外へ出る事
- ・相手の危険行為による負傷を装う事、又は誇張する事
- ・礼をしない事、審判団に対する不作法、道徳に反する行為
※礼は、背中と両腕を伸ばした気をつけの姿勢から、無言で上体を約30度前に倒す動作とする
- ・その他審判が違反行為と判断した場合

■罰則基準■

●警告(減点1)

- ・上記禁止行為のいずれかに該当した場合

●反則注意(減点2)

- ・禁止行為により相手選手に大きなダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

●反則=反則負け(減点3)

- ・禁止行為により相手選手に試合続行不可能なダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

※減点は分類を超えて累積される

■失格■

- ・試合中、審判員の指示に従わなかった場合
- ・出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ・各階級の規定体重をオーバーした場合(2キロ未満は減点1、2キロ以上は失格)
- ・その他審判団が悪質と判断した場合

■出場停止処分■

競技者が、悪質な禁止行為を行った場合、あるいは競技者又はセコンドが空手道の信用を失墜させる行為を行った場合には、その競技者を失格とし、審判団権限により一年間の正道会館公式試合への出場停止処分を与える

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ー着用なし

部門 防具	男子						女子				
	幼年	小学生	中学生	中級	上級	青壮年	幼年	小学生	中学生	中級	上級
マウスピース	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
拳サポーター(布製)	●	●	—	—	—	—	●	●	—	—	—
パンチンググローブ	—	—	●	●	●	●	—	—	●	●	—
スネサポーター(布製)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
ヒザサポーター(布製)	△	●	●	●	●	●	△	●	●	●	△
金的ファールカップ	△	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—
ヘッドガード	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※
インナーチェスト	△	△	△	—	—	—	△	—	—	—	—
スポーツブラ	—	—	—	—	—	—	—	*△	*●	*●	*●
アンダーガード	—	—	—	—	—	—	△	△	●	●	●
Tシャツ	—	—	—	—	—	—	※着用場合は白Tシャツのみとする				

- ◎金的ファールカップ・アンダーガードは必ず道着の中に着用
- ◎拳頭部へのテーピングは、裂傷がある場合にのみ認める
試合前に各コートの監査チェックを受けておくこと
それ以外の箇所へのテーピングに監査のチェックは不要
- ◎選手係や審判員が薄くて危険と判断した拳サポーター、パンチンググローブ、スネサポーター等は主催者準備の物と交換すること
- ※飛沫防止の観点から透明シールド付のヘッドガードに限定する(自作可)
また、主催者指定品の括りは無いが著しく変形又は特異な物は認めない
- *小学生以上の女子のインナーチェストとスポーツブラはどちらでも選択可能